

取引先各位

平成 23 年 3 月 18 日
株式会社 シオザワ
代表取締役社長 塩澤 好久

東日本巨大地震による紙流通の被害と現状

3 月 11 日、国内最大の巨大地震に見舞われました。

この度の地震によってお亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被害を受けられた地域の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

この地震により東北、東京において紙流通も過去にない甚大な被害が発生致しました。被害状況について 3 月 18 日時点各メーカー、代理店ニュースリリースのリンク先を一覧として掲載しましたのでご参照下さい。

<メーカー>

株式会社 王子製紙グループ http://www.ojipaper.co.jp/release/make_pdf/110314.pdf
株式会社 日本製紙グループ <http://www.np-g.com/contents/200122005.pdf>
紀州北越製紙 株式会社 <http://www.hokuetsu-kishu.jp/newsrelease/index.html>
大王製紙 株式会社 <http://www.daio-paper.co.jp/newsrelease/index.html>

<代理店>

国際紙パルプ商事 株式会社 <http://www.kppc.co.jp/topics.html>
日本紙パルプ商事 株式会社 <http://www.kamipa.co.jp/news/index.html>

●弊社被害状況

1) 社員

当社社員については、けが一人もありませんでした。

2) 物的被害状況

リゾン有明においては平置き在庫品を中心に約 100 パレット近くの倒壊が発生
自動ラックについては全 9 機の内 1 機のみが大きな損傷を受けました、残り
8 機についてはラック内での商品の荷崩れが多数発生致しました。

リゾン戸田、船橋営業所は商品被害は軽微でした。

3) 復旧状況

リゾン有明において3月12日・13日で復旧作業を行ない14日朝より通常業務体制を整える事が出来ました。

●メーカー・紙流通状況

日本製紙石巻工場、三菱製紙八戸工場をはじめに東北各地の製紙工場は壊滅的被害を受け操業停止し、製品在庫もほぼ全損の様です。

東京地域紙倉庫の被害も大きく特に有明を中心とした海岸沿いが厳しい状況になっています。メーカー在庫を主体に置く倉庫は18日現在も出荷停止状態です。倒壊した紙の整理を行ない、倉庫内通路確保を進めている状況です。

西日本の製紙工場は供給不足を阻止する為現在フル稼働中ですが、工場から出荷が出来ない状態です。第一の理由は政府政策として被災地への救援物資最優先から船、トラックをメーカー物流子会社提供中。第二に軽油不足。第三に東京主要倉庫の受入れ体制が今のところを整えられない。以上の事から18日現在メーカー工場より供給が滞っています。

18日現在、稼働している倉庫が少ないために出庫業務の能力を超える注文が集中している状況です。また計画停電の影響や、軽油不足も絡み正常な業務が損なわれているのが現状です。

弊社と致しましては、荷役の安全性と品質の確認を最優先に、より早く通常デリバリーに回復するよう努めてまいります。何とぞご理解・ご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。